



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 クニミネ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5388 URL <http://www.kunimine.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國峯 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 黒坂 恵一

TEL 03-3866-7255

四半期報告書提出予定日 平成30年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・マスコミ向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	6,395	4.6	558	2.6	588	10.4	383	10.8
30年3月期第2四半期	6,115	6.0	573	22.0	656	41.3	429	45.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 549百万円 (6.8%) 30年3月期第2四半期 589百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	26.53	
30年3月期第2四半期	32.59	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	20,655	17,824	84.9
30年3月期	20,737	17,816	84.6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 17,534百万円 30年3月期 17,541百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		37.50	37.50
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,025	9.4	1,822	1.8	1,970	1.8	1,348	0.6	93.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	14,450,000 株	30年3月期	14,450,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	1,792 株	30年3月期	1,718 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	14,448,241 株	30年3月期2Q	13,188,383 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）	P 1
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(追加情報)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、鉱工業生産は夏場に相次いだ自然災害の影響でやや下振れしているものの、基調としては底堅さを堅持しております。個人消費においては雇用所得環境の改善が続いている反面、物価上昇による実質所得の伸び悩みを受けて緩やかな持ち直しにとどまっております。また、設備投資においては、高水準の企業収益を背景に堅調に推移しており、引き続き景気は回復基調でありました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、自動車の国内生産台数が好調に推移しており、土木建築業界は、新設住宅着工戸数の伸びは頭打ちとなっているものの、低金利で推移する住宅ローンや良好な雇用所得環境に支えられほぼ横這いで推移するなど、全体として回復基調にありました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連等を取り込むとともに、為替相場の影響を受ける原材料において価格変動を最小限に抑える取り組みに注力し、売上高および収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、ベントナイト事業部門およびアグリ事業部門は増収となりましたが、収益性の高い化成品事業部門が減収減益であったため、売上高は63億95百万円（前年同期比 4.6%増）、営業利益は5億58百万円（同 2.6%減）となりました。経常利益は有価証券売却損が85百万円発生したこと等により5億88百万円（同 10.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億83百万円（同 10.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① ベントナイト事業

鋳物関係は、乗用車をはじめとする自動車国内生産台数が引き続き好調を維持していること等により、増収となりました。土木建築関係は、土木基礎向けはほぼ横這いであったものの、復興関連の需要を取込んだこと等により、増収となりました。ペット関係は、新規案件が引き続き好調なこと等により、若干の増収となっております。

この結果、当セグメントの売上高は48億54百万円（前年同期比 7.8%増）、セグメント利益は6億98百万円（同 8.2%増）となりました。

## ② アグリ事業

主たる農薬分野において、主に水稲用除草剤において需要が増加したこと等により増収となりましたが、前期に新設した設備の減価償却費の増加等により、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は8億88百万円（同 4.3%増）、セグメント利益は12百万円（同 6.7%減）となりました。

## ③ 化成品事業

ファインケミカル分野では、クニピアが化粧品向けで好調であったものの、一般工業用途での主要納入先における製品構成の変化の影響を受け、全体として減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6億52百万円（同 14.0%減）、セグメント利益は63百万円（同 52.4%減）となりました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は堅調であり、概ね予想どおりに推移しておりますので、現時点におきましては前回発表（平成30年5月11日）の業績予想の変更はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,050,608	6,336,645
受取手形及び売掛金	4,487,734	4,226,472
有価証券	1,369,520	603,720
商品及び製品	311,444	381,014
仕掛品	284,190	319,849
原材料及び貯蔵品	1,261,070	1,486,620
その他	18,789	31,195
流動資産合計	13,783,357	13,385,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,675,117	1,629,762
機械装置及び運搬具(純額)	1,400,907	1,383,844
土地	1,780,254	1,780,254
リース資産(純額)	44,662	62,758
その他(純額)	178,180	427,558
有形固定資産合計	5,079,123	5,284,179
無形固定資産	71,028	83,368
投資その他の資産	1,804,076	1,902,531
固定資産合計	6,954,228	7,270,079
資産合計	20,737,586	20,655,597
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	716,322	693,947
未払法人税等	429,529	193,545
賞与引当金	135,410	134,175
その他	694,036	753,457
流動負債合計	1,975,298	1,775,126
固定負債		
退職給付に係る負債	11,274	10,088
閉山費用引当金	520,640	528,871
資産除去債務	23,494	23,494
その他	390,261	494,013
固定負債合計	945,671	1,056,467
負債合計	2,920,969	2,831,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	3,672,201	3,672,201
利益剰余金	11,895,023	11,736,461
自己株式	△548	△634
株主資本合計	17,184,475	17,025,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	315,436	479,240
繰延ヘッジ損益	△2,341	—
為替換算調整勘定	43,640	29,313
その他の包括利益累計額合計	356,734	508,554
非支配株主持分	275,406	289,620
純資産合計	17,816,616	17,824,003
負債純資産合計	20,737,586	20,655,597

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	6,115,754	6,395,742
売上原価	4,160,222	4,430,240
売上総利益	1,955,532	1,965,501
販売費及び一般管理費	1,382,420	1,407,074
営業利益	573,111	558,426
営業外収益		
受取利息	5,543	6,514
受取配当金	71,184	68,281
為替差益	3,684	24,864
その他	7,435	20,068
営業外収益合計	87,848	119,729
営業外費用		
支払利息	1,917	1,999
コミットメントフィー	1,481	1,481
有価証券売却損	—	85,580
その他	603	445
営業外費用合計	4,002	89,507
経常利益	656,956	588,648
特別利益		
固定資産売却益	1,559	—
投資有価証券売却益	27	—
特別利益合計	1,587	—
特別損失		
固定資産除却損	14,363	3,866
特別損失合計	14,363	3,866
税金等調整前四半期純利益	644,181	584,782
法人税、住民税及び事業税	182,991	164,544
法人税等調整額	17,717	16,441
法人税等合計	200,709	180,985
四半期純利益	443,471	403,796
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,614	20,547
親会社株主に帰属する四半期純利益	429,857	383,248



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	443,471	403,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172,296	163,804
繰延ヘッジ損益	6,105	2,341
為替換算調整勘定	△32,309	△20,659
その他の包括利益合計	146,093	145,486
四半期包括利益	589,565	549,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	585,081	535,068
非支配株主に係る四半期包括利益	4,483	14,214

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

第2四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
減価償却費	307,569千円	306,700千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,505,294	851,659	758,799	6,115,754	—	6,115,754
セグメント間の内部売上 高又は振替高	32,307	—	37,150	69,457	(69,457)	—
計	4,537,602	851,659	795,949	6,185,212	(69,457)	6,115,754
セグメント利益	646,129	13,305	134,095	793,530	(220,419)	573,111

(注) 1. セグメント利益の調整額△220,419千円には、セグメント間取引消去△450千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△279,261千円及び棚卸資産の調整額59,292千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,854,799	888,580	652,361	6,395,742	—	6,395,742
セグメント間の内部売上 高又は振替高	36,709	—	28,579	65,288	(65,288)	—
計	4,891,508	888,580	680,941	6,461,031	(65,288)	6,395,742
セグメント利益	698,841	12,413	63,809	775,064	(216,637)	558,426

(注) 1. セグメント利益の調整額△216,637千円には、セグメント間取引消去70千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△277,079千円及び棚卸資産の調整額60,371千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。